

## SDGs に貢献！「脱炭素」「ごみ減量」「資源循環」 環境分野の取り組みをさらに推進します

大府市は、「脱炭素」「ごみ減量」「資源循環」といった環境分野の取組をさらに推進するため、新たな施策を展開します。

なお、関連費用については 3 月議会に当初予算案として上程する予定です。

- ① 【新】 宅配ボックス購入費補助金制度
- ② 【新】 一般家庭のエネファームによる J-クレジット創出・活用プロジェクト
- ③ 【新】 環境配慮型マットレス購入費補助金制度
- ④ 【変更】 「燃やせるごみ」という名称を「燃やすしかないごみ」に変更
- ⑤ 【実績】 電気、電池で動くおもちゃの回収実績

### ① 【新】 宅配ボックス購入費補助金制度

宅配便の再配達による配達車両から排出される二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、物流業界の 2024 年問題への対応の一助となることを目指し、宅配ボックス購入費補助金制度を開始します。

受付開始日／令和 7 年 4 月 1 日（火）

対象製品／袋式や折り畳み式ではない、未使用品であること。

ワイヤーや南京錠などで盗難防止対策がとられていること。

宅配ボックスとしての使用を目的として販売されていること。

補助額／購入額の 2 分の 1、上限 15,000 円

予算／225 万円

### ② 【新】 一般家庭のエネファームによる J-クレジット創出・活用プロジェクト

市民がエネファーム（家庭用燃料電池）を購入する際に大府市が補助金を交付し、連携事業者がエネファームによって削減できた CO2 量を取りまとめ、J-クレジットの申請手続きを代行します。取得した J-クレジットを市内事業者に売却するプロジェクトを開始します。プロジェクトの連携事業者として、東邦ガス(株)と連携協定を締結する予定です。

補助受付開始日／令和 7 年 4 月 1 日（火）

対象者／自ら居住する市内の住宅にエネファーム（家庭用燃料電池）を設置し、東邦ガス(株)が運営する「くらしカーボンニュートラルクラブ」に入会している市民

補助額／10 万円

予算／300 万円

### ③ 【新】環境配慮型マットレス購入費補助金制度

環境省が適正処理困難物に指定しているスプリング入りのマットレスは、解体、分別に手間と時間が非常にかかっています。大府市では、処理にかかるコストの削減を図り水平リサイクルが可能なマットレスを普及促進させるため、環境配慮型マットレス購入費補助金制度を開始します。対象マットレスの指定にあたり、(株)エアウィーヴと連携協定を締結する予定です。

受付開始日／令和 7 年 4 月 1 日（火）

対象マットレス／水平リサイクルの原材料にできるもので市長が指定したもの

対象／指定店舗で対象マットレスを購入し、販売店またはメーカーによる無償の引き取りサービスを利用した市民

補助額／購入額の 15%、上限 30,000 円

予算／400 万円

### ④ 【変更】「燃やせるごみ」という名称を「燃やすしかないごみ」に変更

令和 7 年 4 月から、市民のごみ減量、資源循環意識を高めるため、「燃やせるごみ」という名称を「燃やすしかないごみ」に変更します。今後製作するパンフレットや啓発品などには「燃やすしかないごみ」という名称を用います。

### ⑤ 【実績】電気、電池で動くおもちゃの回収実績

令和 5 年 12 月から令和 6 年 7 月まで県内初のモデル事業として実施し、その後も継続して行っている電気、電池で動くおもちゃの回収事業の実績を取りまとめました。

集まったおもちゃは、リネットジャパンリサイクル(株)が回収し、リサイクル事業者に運び、おもちゃなどのプラスチック製品に生まれ変わっています。

回収対象／電気・電池で動くプラスチック製おもちゃ

回収方法／①市役所、市内 9 公民館に設置した専用回収ボックス

②リネットジャパンリサイクルのウェブサイトを経由した宅配便回収

期間	回収重量 (kg)
令和 5 年 12 月 1 日～令和 6 年 7 月 20 日 (233 日間) ※モデル事業	88kg
令和 6 年 7 月 21 日～12 月 16 日 (149 日間)	48kg

### 【問い合わせ先】

大府市環境課

担当：①②植木孝（ウエキ タカシ）、③④⑤太田雅之（オオタ マサユキ）

電話：0562-45-6223 FAX：0562-47-9996 メール：kankyo@city.obu.lg.jp